杉並区コーラス連盟だより

2023年9月発行

サマーコンサート特集号

去る8/19(土)、新しくオープンしたばかりのセシオン杉並ホールでサマーコンサートが開催されました。出演団体は16団、出演者総数は303名。暑いさ中でしたが一般のお客様にも多数来ていただきました♪（その数、約240人！）

ベビーカーの赤ちゃん連れでお越しくださった若いお母様は、「数曲でしたがコーラスを聴くことができて幸せでした」とおっしゃっていました。皆さまの歌声はたくさんの方に届いています✨

次回、杉並区総合文化祭コーラス大会は10/7(土)、同じくセシオン杉並ホールにて開催します。今回は37団が出演予定です。お楽しみに！　（※杉並区総合文化祭については9/15の区報に掲載されます）

皆さまの声

サマーコンサートにご出演の団に、他の団体で良かったところと、ご自分の団体で頑張ったところをお聞きしました。お互いにいいところを参考にし合って、刺激し合って切磋琢磨していけたら素敵ですね。

他団体で良かった団

・歌の会・ミンネ、名曲を歌う会…ピアノを弾く先生と歌がコラボして楽しさが良く伝わってきました。

・杉並混声合唱団…オーソドックスな混声で迫力もあり、音楽を伝えるのが上手だと思いました。

・コール・ピアチェーレ…少人数ながら、暗譜で歌い、その分、歌い込んだ成果が感じられました。なかなか楽譜が手離せないことを反省させられました。そして合唱は人数の多少で評価が決まるものではないと実感しました。

・M&M…少人数でも1人1人の歌声がすごくしっかり聞こえ、高音もとてもきれいで、そろっていて、レベルが高いなぁ、と思いました。

・M&M‥‥7人という少人数でありながら、伸び伸びとした発声で表現力豊かな合唱を聞かせていただきました。 各人の発声に安定感があり、特に高音の伸びが美しく響いていました。いずれも難曲だったと思いますが、語りかけるような歌に気持ちが乗っていました。

・女声コーラス“萩”…ハーモニーも良く、音の緩急もすばらしかったです。

・女声コーラス“萩”…声が美しく、ハーモニーがきれいで、曲の表現力も素晴らしいと感じました。この曲を長く歌ってこられたのかなと思いました。

・どの団も、工夫してそれぞれ個性的で、良かったと思います。

・どの団体も、日頃の練習の成果を出して、歌われていました。そして、歌うことが楽しく、活き活きとしていて、本当に皆さん、歌がすきなんだなぁと、つくづく思いました。

自分の団で頑張ったところ

・M&M…私たちは少人数ですが、指導者に恵まれ、遠方からの参加の方も含め全員で声を合わせる事ができ、良い舞台になったと思います。

・ヴォラーレ…発表曲の3曲は、いつものイタリア語2曲とあと1曲はナポリ語でした。ナポリ語は、イタリアの一方言ですが、慣れていないうえ、発音はイタリア語より難しいです。馴染むのに大変でしたし、更に、3曲夫々の曲想の違いを出したいとレッスンに励みました。

・名曲を歌う会…枯葉をフランス語で歌いたいというのは団員のリクエストでした。それだけに、酷暑の最中みんな気を入れて練習しました。

・歌の会・ミンネ…決めたことだけ守って、あとは一人一人がソリストだと思って歌いましょうというのがミンネ流です。

・歌謡コーラス…初出演で緊張しましたが、元気に楽しく歌わせていただきました。

・おうた petit…私たちは初めての参加でしたが、緊張しながらも大きな舞台を楽しむことができました。少人数ながら精一杯の声で歌うことができました。

・楽しいボイストレーニング“風音”（かのん）…直前になって「譜面を見ないで歌う」ことにチャレンジすることになり、不安を抱えたままステージに立ちましたが、 全員が先生の指揮を見ながら集中して歌うことができ、満足できる結果でした（自画自賛！）。最後に歌った「Ave Maria～母に寄せて」は一番苦労したアカペラ曲です。「聖堂に響くグレゴリア聖歌」を目指していましたが、初めは程遠い内容でした。それが厳しい練習の結果、本番では自分たちが驚くほど4声がまとまり、きれいなハーモニーを創り出しました。感動の一瞬でした。

編集後記：明るくなったセシオン杉並ホール、響きが良くなったとの声が多数聞かれました。新しいホールで新たなスタート。連盟も発足から50年目。気持ちも新たに少しづつでも進化していきたいです。皆さまと共にもっと楽しく、そしてその楽しさを広めていけるように。お力をお貸しください♪

発行 杉並区コーラス連盟 HP URL　https://www.sugi-chiiki.com/sugi-chorus-ren/
Email：suginamichorus@gmail.com